



ネイチャーセンターだより

2020年10月号

新・いきもの図鑑



タヒバリ（セキレイ科）

タヒバリは、全長が17cmほどの小さな鳥です。その名のとおりに、ヒバリに似た茶色っぽい色をしています。ハクセキレイと同じセキレイの仲間で、地上にいる時には、セキレイと同じようによく尾をふっています。繁殖地は、ユーラシアから北アメリカの中・高緯度地方です。日本には、冬鳥として渡来しますが、根室市を含め北日本では、春と秋に立ち寄る旅鳥です。春国岱では、4月～5月と9月～11月にヒバリコースやキタキツネコースの周辺の草原で「ピピッ、ピピッ」と鳴きながら群で飛んでいるのが観察できます。

また、夜は、草原の地上部やアシ原の中に集団でねぐらをつくって休みます。

【参考文献】

長谷川博. 1997. 日本動物大百科第4巻鳥類II. 平凡社. 東京.
平野敏明. 2012. セキレイ・タヒバリ類のねぐら入り. 月刊BIDER第26巻第10号: p30-31.

トピックス

しゅんくにたい 春国岱は、ハヤブサのレストラン?

9月28日、キタキツネコースで風蓮湖内のカモの群を襲うハヤブサの幼鳥1羽を観察しました。ハヤブサは、何度も群の中へ突撃していましたが、捕まえることはできず、しばらくして、諦めたのか森の方へ飛び去っていきました。9月22日には、成鳥1羽を観察していますので、春国岱は、少なくとも2羽のハヤブサに利用されていると思われます。

ハヤブサは、根室市では数が少ないですが、1年中観察できる留鳥です。崖の途中の岩棚に巣をつくり、市内でも繁殖が確認されています。春国岱では、主に5月と10月に観察することが多いです。春と秋は、エサとなるカモや小鳥類が多く集まるため、ハヤブサはそれらを求めて飛来するのかもしれませんが、また、ハヤブサの狩り場には、スピードを生かせる広い空間と、岩場や高圧鉄塔など周囲を見渡せる止まり場が必要です。春国岱には、障害物の少ない広い水辺や草地、また止まり場になる枯木が多くあるため、ハヤブサにとって最適な狩り場の1つになっているのだと思います。

普段、中々観察できないハヤブサですが、秋の春国岱では、出会う可能性が高いので今月もハヤブサのスピード感あふれる魅力的な狩りを観察できるかもしれません。

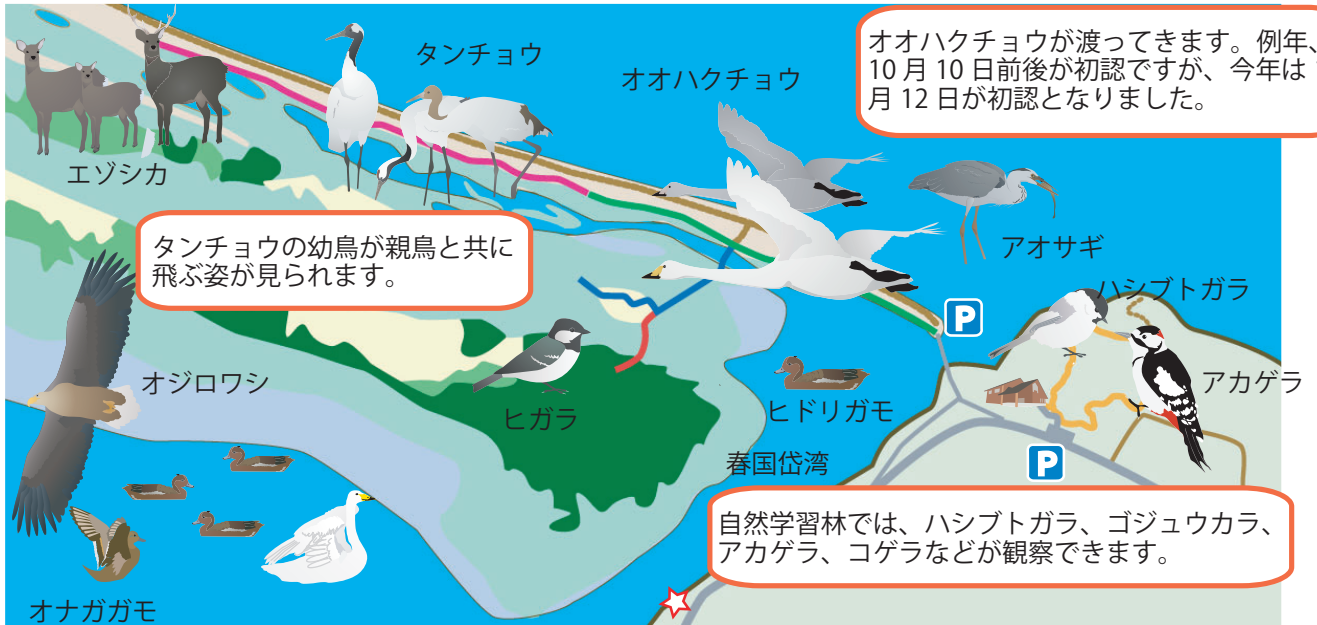
【参考文献】

- 北沢善政. 1996. ハヤブサ類. 日本動物大百科第3巻鳥I. 平凡社. 東京.
- 黒澤隆. 2008. ハヤブサ. Bird Research News Vol.5 No.12.
- ニムオロ研究会. 2005. 根室市鳥類生息調査報告書. 根室市教育委員会.



2020年9月28日、春国岱で撮影

見どころMAP



オオハクチョウが渡ってきます。例年、10月10日前後が初認ですが、今年は10月12日が初認となりました。

タンチョウの幼鳥が親鳥と共に飛ぶ姿が見られます。

自然学習林では、ハシブトガラ、ゴジュウカラ、アカゲラ、コゲラなどが観察できます。

- 観察路(ヒバリコース1.2km、約25分)
- 観察路(ハマナスコース1.4km、約30分)
- 観察路(キタキツネコース0.8km、約20分)
- 観察路(アカエゾマツコース0.5km、約15分)
- 観察路(小鳥の小道1.4km、約30分)
- 作業路(春国岱上は車両進入禁止)
- 根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター(入館無料)
- ★ 東梅野鳥観察舎(東梅ハイド)

10月の見どころ予報

- 凡例
- ◎ ぜったい見られる (と思う)
 - ちょっと気をつければ見られる
 - + よく気をつければ見られる
 - ・ めったに見られない

オジロワシ	○	立枯木の枝や消波ブロックなどに止まっているところが見られる。干潮時には、風蓮湖や根室湾の干潟に降りて、エサを探していることもある。
オオワシ	+	例年、10月下旬が初認。11月には、春国岱の森や根室湾の干潟でしばしば見られるようになる。
タンチョウ	○	春国岱では、幼鳥1羽をつれたつがいが見られる。十分な距離を保って観察してほしい。木橋以西の湿地で採餌している様子や親子で飛翔する様子が時々観察できる。
オオハクチョウ	○	今年は、10月12日が初認となった(第1トウバイ川河口部で成鳥4羽幼鳥2羽の計6羽を確認)。最盛期の11月上旬には、風蓮湖・温根沼全体で約1,000羽のオオハクチョウが観察できる。
カモ類	◎	春国岱湾では、2,000羽を超えるカモ類が観察できる。根室湾では、クロガモやウミアイサなどの海ガモ類も見られる。過去、10月に確認されたカモは21種類。
春国岱の森		アカエゾマツコースでは、ヒガラやハシブトガラなどが観察できる。また、運が良いとクマガラに出会うことがある。※シマエナガは、今年はあまり見かけない。
自然学習林		ハシブトガラ、シジュウカラ、ヒガラ、ゴジュウカラ、キバシリ、キツツキ類(アカゲラ・コゲラ・オオアカゲラ)が見られる。※シマエナガは、今年はあまり見かけない。
植物		自然学習林: ツルウメモドキ(実)、ナナカマド(実)、コウライテンナンショウ(実)など 春国岱: (草原)ウンラン(花) (森林)ツタウルシ(紅葉)、タノキ(紅葉) (塩性湿地)ウラギク(花)・アッケシソウ(紅葉)
危険生物		エゾイラクサ・ツタウルシには、さわらないようにご注意ください。手などが痛んだり腫れたりします。 マダニを防ぐため、虫よけ剤の塗布をおすすめします。

低気圧に運ばれた海鳥たち

9月26日、根室地方に発達した低気圧が接近し、翌27日の昼過ぎまで、春国岱も暴風雨におそわれました。しかしそんな中、ふだんは海上にいて、めったに見かけない海鳥たちが、春国岱湾から根室湾にかけて次々と通過してゆくのを、観察しました。

- ・コシジロウミツバメ：26日9群のべ24羽+。最大羽数は7羽+。27日春国岱湾で4羽以上など。
- ・ハイロウミツバメ：27日春国岱湾で少なくとも3回確認（1羽、1羽、2羽）。28日キタキツネコースで、衰弱した1羽を保護（残念ながら翌朝までに死亡）。
- ・ミツユビカモメ：26日12群のべ79羽以上；27日も多数を観察。
- ・トウゾクカモメ：26日12群のべ78羽+（1群の最大の羽数は24羽+）、数え落とし多数。27日5羽以上が春国岱湾から根室湾へ移動など
- ・シロハラトウゾクカモメ 26日トウゾクカモメの群の中に成鳥2羽が混じって飛んでいた
- ・ハイロヒレアシギ（渡りの途中で海上を泳いでいることが多い）：26日7羽～23羽の群を4回以上目撃。27日3群（163羽、19羽、22羽+）を目撃。同じ群が違う群れかは不明

これらはすべて、ネイチャーセンターの窓から観察したものです。まるで、沖を行くネイチャークルーズ船に乗っているかのような2日間でした。（今回は倒木や木道の破損等の被害がほとんどなかったのは幸いです。）



コシジロウミツバメ
2020年9月27日、根室湾で撮影



ハイロウミツバメ
2020年9月27日、根室湾で撮影



ハイロヒレアシギ
2020年9月27日、根室湾で撮影

春国岱クイズ

上の「NEWS」でお知らせしたように、9月末、ウミツバメの仲間のコシジロウミツバメとハイロウミツバメが何羽も、春国岱の近くで見られました。この仲間はふだんは海の沖の方にいて、ひなを育てる時以外は陸におりることがなく、まじかに見ることはめったにありませんが、強い風のために吹き飛ばされてきたようです。水面すれすれをひらひらとチョウのように飛び、時々水面におりてはまた舞い上がる姿が、印象的でした。

さて、このウミツバメ、尾の先に切れ込みがあって、つばさもすらりと細長く、ツバメと似たような形・大きさなのですが、実はツバメとは縁の遠い鳥です。では、次のうちで、ウミツバメの仲間に一番近い鳥はどれでしょうか？

- ① アマツバメ
- ② アホウドリ
- ③ ウミスズメ

春国岱ネイチャーセンターのイベント情報

●行事参加者募集！

風蓮湖みずとり観察会

11 / 1 (日) 午前10時～12時 (雨天等悪天候の場合は11 / 3 (火・祝) に順延)

内容：春国岱周辺に渡来したオオハクチョウやカモ類などの水鳥を観察します。

対象：バードウォッチングに興味のある小学生以上 (17歳以下の方は大人の方と一緒に)

定員：20人 (先着順)

集合・解散：春国岱駐車場

参加費：100円 (保険代)

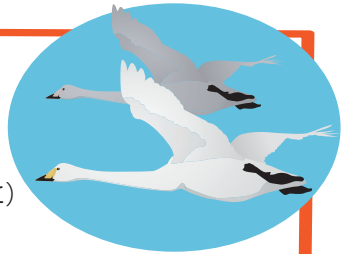
服そう：長ぐつ・防寒具上下・帽子・手袋。マスクをして来てください。

持ち物：水筒、筆記用具、お持ちの方は双眼鏡 (貸出有り、先着10名)

申込方法：電話、メール (右記QRコード) またはネイチャーセンターにご来館の時に。参加者全員の氏名、小学生は学年もお知らせください。

☎：0153-25-3047

✉：nemu_nc@marimo.or.jp



行事にご参加の方には、受付後、次のことをご確認ください。どうぞご了承ください。

- 体調の不良 (平熱を超える発熱、咳・のどの痛みなど風邪の症状、嗅覚や味覚の異常、体が重く感じる、疲れやすいなどの症状) がないこと。
- 行事の日の14日前以降に新型コロナウイルス感染症陽性とされた方との濃厚接触がないこと。
- 同居家族や身近な知人に感染が疑われている方がいないこと。
- 行事の日の14日前以降に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域への渡航または当該在住者との接触がないこと。
- 行事保険では新型コロナウイルス感染症等特定感染症を対象としていないこと。

募集中!

ボランティア「スंक」

春国岱ネイチャーセンターでは、ボランティアスタッフを常時募集しています。春国岱や風蓮湖、ネイチャーセンター周辺の森の自然を自らが楽しみ、環境保全について学び守ることを目的としています。月に1回、ミーティングを行い (基本的に最終火曜日)、自然学習林の樹名板を作ったり、イベントを企画・実施したりしています。

熱いながらもゆるい楽しい集まりです。ご興味のある方はネイチャーセンターまでお問合せください。

◆対象：18歳以上

◆年会費 (ボランティア保険料含む)：1,000円

フィールドマナーを守って

自然や生きものが安心して暮らせるように…

- 春国岱の駐車場から奥は、一般車両の乗り入れは法律で禁止されています
- 観察路からはずれないようにしてください
- 動植物の採取や捕獲はしないでください
- ゴミはお持ち帰りください
- 所定の場所での喫煙にご協力ください
- キタキツネやエゾシカ、野鳥など野生動物の生息地です。またマダニも多く生息しています。ペットを持ち込んだり、放したりすることはご遠慮ください



クイズのこたえ ② アホウドリはつばさのさしわたしが2m以上もある大きな鳥ですが、くちばしの先がカギのように曲がっており、鼻の部分が管のようになっていて、ウミツバメとよく似ています。共に、魚やイカ、エビの仲間などの海の生き物をとらえて食べます。アマツバメもツバメに似た形をしていますが、飛んでいる昆虫を食べる鳥で、くちばしや足の形が全然ちがいます。ウミスズメは、体の小さな海鳥で海の生き物を食べる場所が似ていますが、カモメやシギ・チドリ類に近い鳥です。

根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター (入館無料)

〒086-0074 北海道根室市東梅103番地

TEL. 0153-25-3047 FAX. 0153-25-8570

Eメール. nemu_nc@marimo.or.jp

HP. http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html

Face Book. <https://www.facebook.com/shunkunitai/>

◆休館日：(開館時間9:00～16:30)

10月7・14・21・28日 11月4・5・11・18・24・25日

◆団体でご利用の方へ (事前予約制)

自然観察の案内やスライド上映などのプログラムをご利用いただけます。



ラムサール条約湿地

風蓮湖・春国岱

2005年11月登録